

令和5年度版

よ く わ か る 公 共 事 業

～ 公共事業の目的、効果、進捗状況を情報発信 ～

佐波伊勢崎地域



一級河川男井戸川 河川改修



(都)上矢島米岡線 バイパス整備事業



県道香林羽黒線(下植木町工区) 歩道整備



東毛流域下水道 幹線管渠整備



ていぼう
堤防

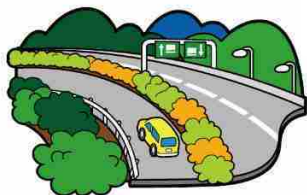
どんな効果
があるの？



はし
橋

事業の進み
具合は？

何のために事業
しているの？



どうる
道路

どんな事業？



こうえん
公園

佐波伊勢崎地域

佐波伊勢崎地域は、県の中南部に位置し、東京から100km圏内にあり、一部に丘陵地があるほかは、ほぼ平坦な地域です。年少人口と生産年齢人口の割合が高く、農業と商工業がバランス良く発展しています。また、埼玉県と接し、関越自動車道、北関東自動車道、東毛広域幹線道路等主要幹線道路が整備され、10km以内に多くのインターチェンジを有しています。鉄道においてもJR両毛線と東武伊勢崎線があり、交通の利便性が優れています。



地域の優れた特性

- 東京圏に近く、高速交通網の効果が地域全体に行き渡るなど交通の利便性が高く、輸送用機器や業務用機器等の製造業が盛んで製造品出荷額も多く、企業集積が進んでいます。
- 世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産である田島弥平旧宅をはじめ、日光例幣使街道、華蔵寺公園や道の駅「玉村宿」などの魅力ある地域資源があります。

地域の現状と課題

- 過去に被害があった箇所を中心に、水害リスクを軽減するための取組や豪雨時・地震時等でも道路の安全な通行を確保するための取組が求められています。
- 地域経済の更なる活性化につながるよう、地域間連携を強化するための取組が求められています。
- 既存の高速道路を有効活用し、物流の効率化による地域経済の活性化を図るための取組が求められています。
- 市街地等の交通渋滞を解消し、円滑な交通を確保するための取組が求められています。
- 通学路を中心に、歩行者や自転車の安全な通行を確保するための取組が求められています。
- 快適な生活環境づくりに向け、汚水処理人口普及率の向上に向けた取組が求められています。



県民の声

- 過去に河川が氾濫して被害が発生した箇所について、再び、氾濫被害が発生しないように、河道拡幅等の整備を進めてほしい。
- 通学路となっているのに、歩道が無いところがあるため、通学するのに不安がある。
- 過去に道路が冠水し、通行止めや周辺家屋等への浸水被害が発生した箇所の対策をしてほしい。
- バランスのとれたまちづくりや積極的な都市間連携を進めてほしい。
- 市街地や交差点等での渋滞が発生しているため、渋滞対策を進めてほしい。

地域の課題を解決するための主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ① 令和元年東日本台風と同規模の豪雨による水害リスクを軽減するため、一級河川広瀬川の堤防強化等を推進します。
- ② 社会経済の壊滅的な被害を回避するため、一級河川利根川の堤防嵩上げ等を推進します。
- ③ 過去に被害があった箇所を中心に水害リスクを軽減するため、一級河川男井戸川の河川改修等を推進します。
- ④ 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、県道前橋館林線の電線共同溝の整備等を推進します。

政策3 多様な移動手段の確保

- ① 物流の効率化による地域経済の活性化を図るため、高速道路へのアクセス道路である県道苗ヶ島飯土井線の整備等を推進します。
- ② 市街地等の円滑な交通を確保するため、(都)上矢島米岡線のバイパス整備等を推進します。
- ③ 歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、県道駒形柴町線の歩道整備等を推進します。
- ④ 地域間連携を強化するため、交通渋滞箇所の緩和に向けた検討を行います。

政策5 美しく良好な環境の保全

- ① 汚水処理人口普及率を向上させるため、東毛流域下水道（佐波処理区）伊勢崎幹線の管渠整備等を推進します。

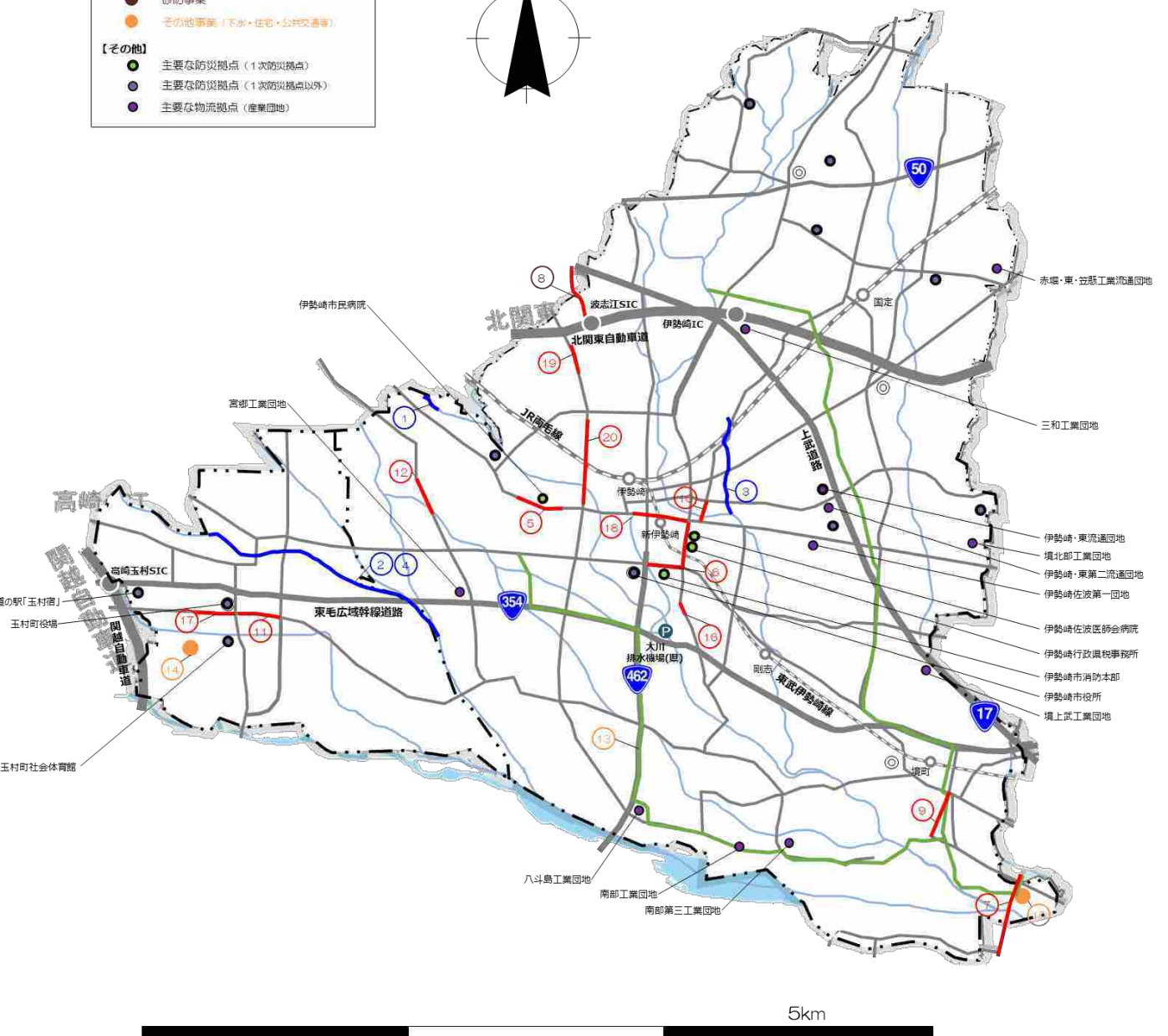
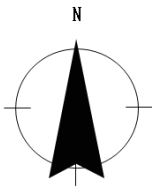
～掲載事業一覧～

佐波伊勢崎地域

番号	事業内容	施工箇所	路河川名	ページ番号
1	堤防強化	伊勢崎市宮子町ほか	一級河川広瀬川	1
2	河川改修	伊勢崎市柴町 ～玉村町上福島	一級河川利根川(伊勢崎・玉村工区)	2
3		伊勢崎市日乃出町～豊城町	一級河川男井戸川	3
4		伊勢崎市柴町 ～玉村町上福島	一級河川利根川(伊勢崎・玉村工区)	4
5	電線共同溝	伊勢崎市連取町	県道前橋館林線(連取町2期工区)	5
6		伊勢崎市今泉町	国道462号(今泉町工区)	6
7	橋梁掛替	伊勢崎市境平塚 ～埼玉県深谷市中瀬	県道伊勢崎深谷線(上武大橋)	7
8	道路新設	前橋市飯土井町 ～伊勢崎市波志江町	県道苗ヶ島飯土井線 (波志江スマートICアクセス)	8
9	バイパス整備	伊勢崎市境東 ～境米岡	(都)上矢島米岡線	9
10	歩道整備	伊勢崎市下植木町	県道香林羽黒線(下植木町工区)	10
11		玉村町下新田	県道綿貫篠塚線(下新田工区)	11
12		伊勢崎市宮古町	県道駒形柴町線(宮古町工区)	12
13	幹線管渠整備	伊勢崎市境平塚ほか	流域下水道 佐波処理区	13
14	処理場整備	玉村町上之手	流域下水道 県央処理区	14
15		伊勢崎市境平塚ほか	流域下水道 佐波処理区	15
16	交差点改良	伊勢崎市茂呂町	県道伊勢崎深谷線(茂呂町二丁目交差点)	16
17	歩道整備	玉村町下新田	県道綿貫篠塚線(下新田2期工区)	17
18	電線共同溝	伊勢崎市東本町	県道前橋館林線(東本町工区)	18
19	歩道整備	伊勢崎市波志江町	県道伊勢崎大胡線(波志江町工区)	19
20	電線共同溝	伊勢崎市太田町	県道伊勢崎大胡線(太田町工区)	20

凡例

- 【事業分野区分】
- 道路事業
 - 河川事業
 - 砂防事業
 - その他事業（下水・住宅・公共交通等）
- 【その他】
- 主要な防災拠点（1次防災拠点）
 - 主要な防災拠点（1次防災拠点以外）
 - 主要な物流拠点（産業団地）



一級河川 広瀬川
堤防強化事業

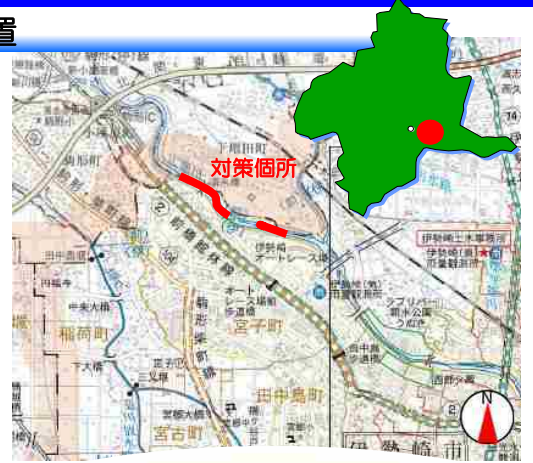
政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

施策1：緊急水害アクション（3か年緊急レジリエンス戦略）

事業概要

- 所在地：伊勢崎市宮子町 ほか
- 河川名：一級河川 広瀬川
- 事業内容：堤防強化全体延長 990m
- 全体事業費：約2億円
- 事業期間：令和元年度～令和3年度（3年間）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・令和元年東日本台風と同規模の豪雨による水害リスクを軽減するため

堤防の弱点を改善して堤防を強化しました



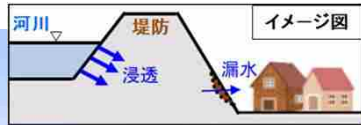
堤防が決壊するおそれなくなり安心できる。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後
洪水時に水位が高い状態が続いた時※の堤防の安全性	△：決壊の恐れあり	○：安全

※記録が残る過去の降雨から、最も堤防に河川水が浸透する条件を想定

実施前

◆河川水位が高い状況が続くと、堤防内に河川水が浸透し、漏水をきっかけに決壊するおそれがありました。



実施後

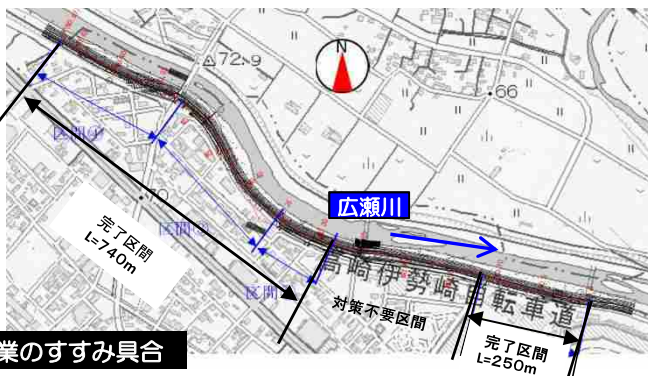
◆堤防に浸透した水を速やかに排水する構造にし、堤防が強化されました。



事業の進捗状況（R3年度完了）

今、何をしているか

令和3年度に事業が完了し、堤防が強化されたことで、水害のリスクが軽減されました。



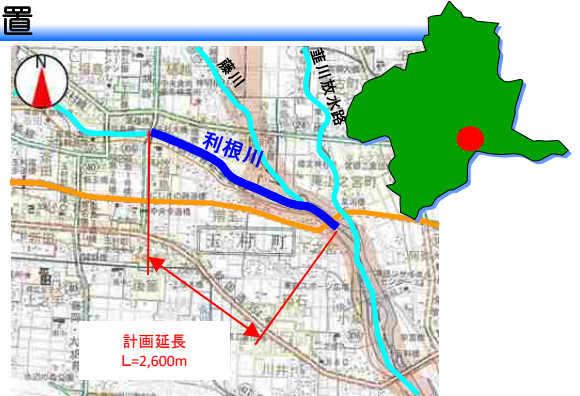
事業のすずみ具合

事業開始 事業完了

事業概要

- 所在地 : 伊勢崎市柴町～玉村町上福島
- 河川名 : 一級河川 利根川
- 事業内容 : 全体計画延長 5,500m
(うち堤防嵩上げ 2,600m)
築堤 45,000㎡
掘削 564,000㎡
- 全体事業費 : 約60億円(河川改修を含む)
- 事業期間 : 平成27年度～令和6年度(10年間)
- 現況流下能力 : 約3,700m³/s
- 計画流下能力 : 6,000m³/s

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・社会経済の壊滅的な被害を回避するため

堤防の嵩上げをして流せる水の量を増やします



洪水の時に堤防の高さが足りないところは高くしてほしい。(地元住民)
川に堆積している土砂より、水がせき上げられ、氾濫する危険が高まっているのではないか。(地元住民)

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
想定氾濫面積の減少	4,500ha	0ha
想定氾濫区域内の浸水戸数の減少	10,818戸	0戸
想定氾濫区域内の要配慮者利用施設等の減少	52施設	0施設

※伊勢崎・玉村工区全体の効果

実施前

◆堤防がない又は低いため、大雨の時は家屋が浸水するおそれがあります。



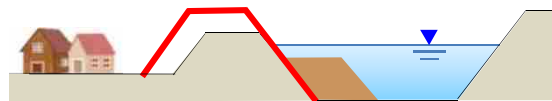
堤防がない又は低い



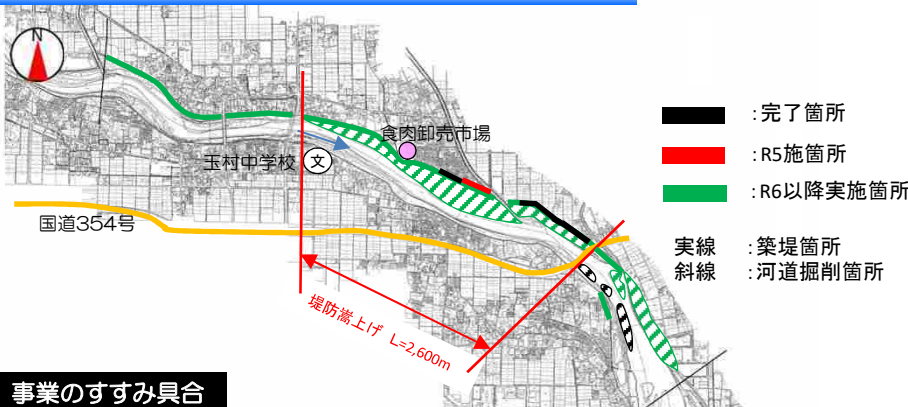
実施後(完成イメージ)

◆堤防を高くすることで、下流へ安全に流せる水の量を増やし、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。

堤防を高くします



事業の進捗状況(R5年3月現在)



今、何をしているか

令和5年度は築堤工事、文化財発掘調査を実施します。



事業のすすみ具合



令和
5
年度

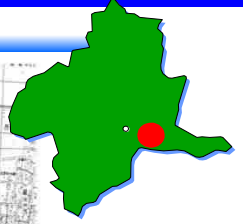
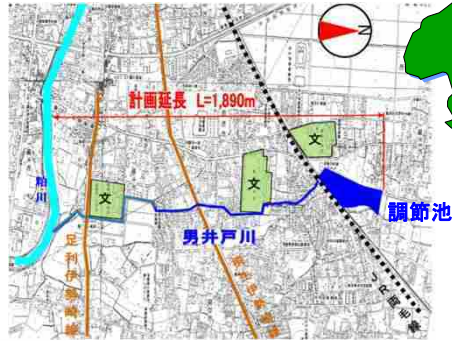
よくわかる公共事業
一級河川 男井戸川
河川改修事業

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現
施策3：防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）

事業概要

- 所在地：伊勢崎市日乃出町～豊城町
- 河川名：一級河川 男井戸川
- 事業内容：全体計画延長 1,890m
河道改修 1,890m
調節池容量 51,000m³
- 全体事業費：約55億円
- 事業期間：平成12年度～令和7年度（26年間）
- 計画規模：概ね10年に1回程度発生すると予想される洪水による氾濫を防止することを目標
- 現況流下能力：約5m³/s
- 計画流下能力：7.5～20m³/s

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・水害リスクを軽減するため

川幅を拡げて流せる水の量を増やします

地元
の声

川の流れがところどころで直角に曲がっていてそこで水が流れにくくなり溢れている。（地元区長）
溢れた水が住宅のそばまでみるみる迫って来て、庭先や道路が川になります。（地元住民）
早く浸水が出ないようにしてほしい。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
想定氾濫面積の減少	19.4ha	0ha
想定氾濫区域内の浸水戸数の減少	215戸	0戸
想定氾濫区域内の教育施設数の減少	2校	0校

実施前

◆大雨の時、水が一度に小さい河道に流れ込むため、街中に水が溢れます。



大雨の状況（H20.7）



せまい河道

実施後

◆大雨の時、調節池に水を貯めることにより、下流へ流れ込む水の量を減らします。

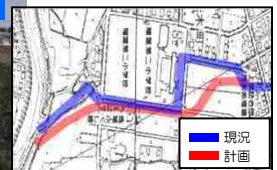


調節池整備

◆河川の川幅を拡げるとともに、河道を滑らかにすることで、流せる水の量を増やします。



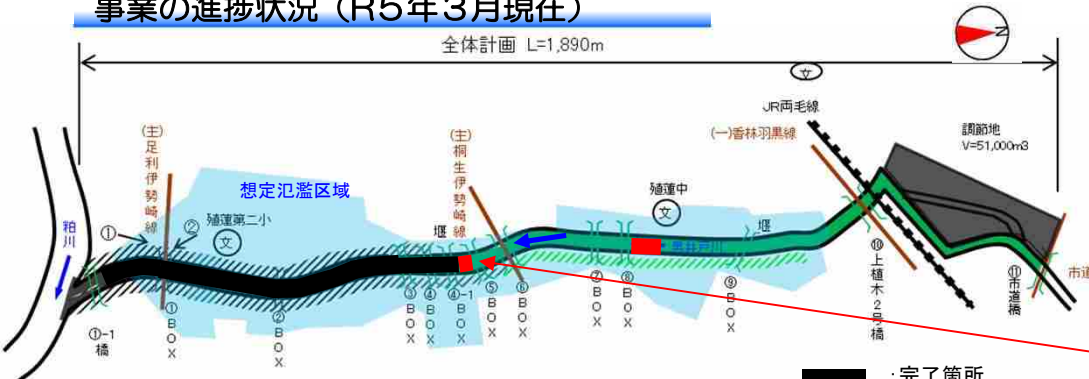
河道拡幅後



河道を滑らかに

事業の進捗状況（R5年3月現在）

全体計画 L=1,890m



事業のすすみ具合

- 完了箇所
- R5実施箇所
- R6以降実施箇所

事業開始 ● ● 事業完了

今、何をしているか

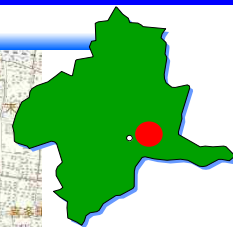
令和5年度は、引き続き河道拡幅工事を実施します。



事業概要

- 所在地：伊勢崎市運取町
- 路線名：主要地方道 前橋館林線
- 事業内容：全体延長 1,150m
管路整備延長 2,300m
- 全体事業費：約7億円
- 事業期間：平成26年度～令和5年度(10年間)
- 現在の交通量 (H27)：17,408台/日 (自動車)
：107人/日 (歩行者)
：361台/日 (自転車)
- 緊急輸送道路：第1次緊急輸送道路

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

**電線を地中化して
電柱を撤去します**



・災害時におけるライフラインを確保してほしい。(地元住民)

成果を示す項目	実施前
電柱の本数	69本
電柱倒壊のおそれ	あり



実施後 (目標)
0本
なし

実施前

◆電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



実施前の状況

実施後

◆道路上の電柱が無くなり、災害時の安全な通行が確保されます。



完成後イメージ

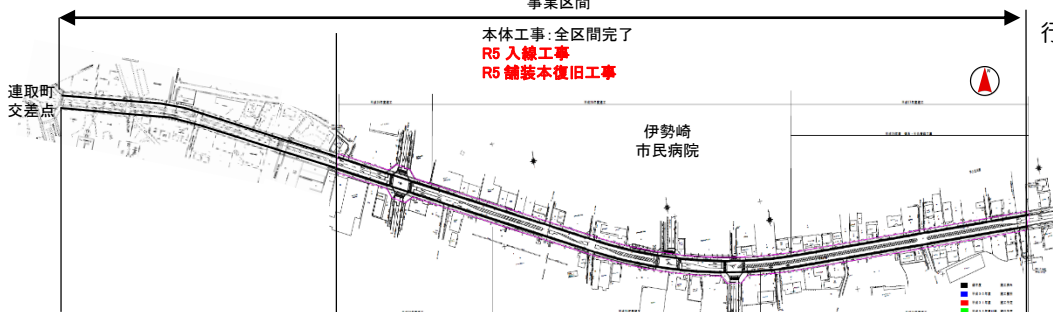
事業の進捗状況 (R5年3月現在)

事業区間

本体工事:全区間完了
R5 入線工事
R5 舗装本復旧工事

伊勢崎
市民病院

運取町
交差点



今、何をしているか

令和5年度は、舗装本復旧工事を
行い、事業の完了を予定しています。



現在の状況

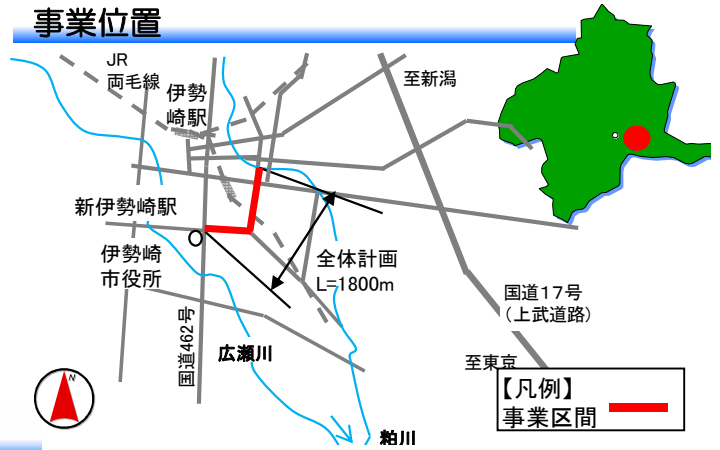
事業のすすみ具合



事業概要

- 所在地：伊勢崎市今泉町
- 路線名：国道462号
- 事業内容：全体延長 1,800m
管路整備延長 3,600m
- 全体事業費：約13億円
- 事業期間：平成30年度～令和5年度
- 現在の交通量（H27）：16,041台/日（自動車）
：165人/日（歩行者）
：565台/日（自転車）
- 緊急輸送道路：第1次緊急輸送道路

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

電線を地中化して
電柱を撤去します



・災害時におけるライフラインを確保してほしい。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
電柱の本数	電柱本数119本	0本
電柱倒壊のおそれ	あり	なし

実施前

- ◆電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。

実施前の状況



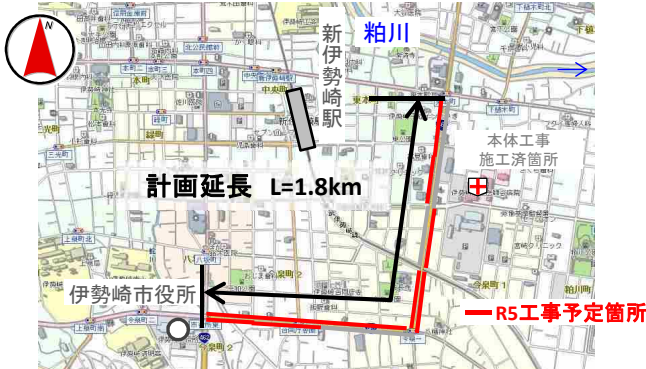
実施後

- ◆道路上の電柱が無くなり、災害時の安全な通行が確保されます。

完成後イメージ



事業の進捗状況（R5年3月現在）



今、何をしているか

令和5年度は、引き続き本体工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ● [Progress bar] ● 事業完了

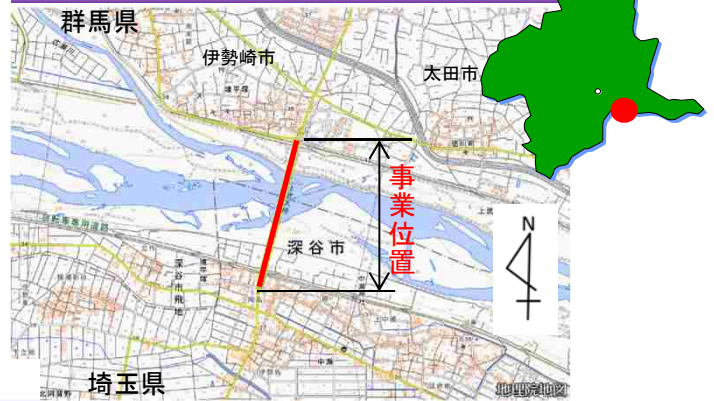
県道伊勢崎深谷線(上武大橋) 政策2 持続的で効率的なメンテナンス 老朽橋架替事業

施策1：予防保全に基づく長寿命化

事業概要

- 所在地：伊勢崎市境平塚～埼玉県深谷市中瀬
- 路線名：主要地方道 伊勢崎深谷線
- 事業内容：老朽橋架替 延長 2.3km 幅 11.3m (2車線)
- 全体事業費：約 12.5億円 (埼玉県施工分含む)
- 事業期間：平成15年度～令和4年度 (20年間)
- 平成30年8月31日新橋開通
- 事業前交通量 (H16)：7,343台/12時間 (自動車)
開通後交通量 (H31)：7,801台/日 (自動車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

- ・既存の社会資本の機能を維持させるため

老朽化した橋梁を
架け替えました

地元の声

- ・橋や橋につながる道路は、狭くて大型車のすれ違いが困難。(道路利用者)
- ・橋が古くて、サビやひび割れが目立っている。(地元住民)
- ・歩道がなく、学生の通学が危険。(地元住民)

成果を示す項目	実施前	実施後
道路橋の機能の確保	主要部材(主桁等)に損傷あり	損傷なし
車両同士のすれ違い	すれ違い困難(幅員5.5m)	すれ違い容易に(幅員7.5m)
歩道設置	歩道なし区間あり	歩道幅員3.0m

実施前

- ◆老朽化によって、橋の健全性が低下しつつありました。また、渋滞が頻繁に起こり、歩道がない箇所等で歩行者の通行に交通事故のおそれがありました。



車道の端を歩く人

「上武大橋北」交差点で
750mの渋滞



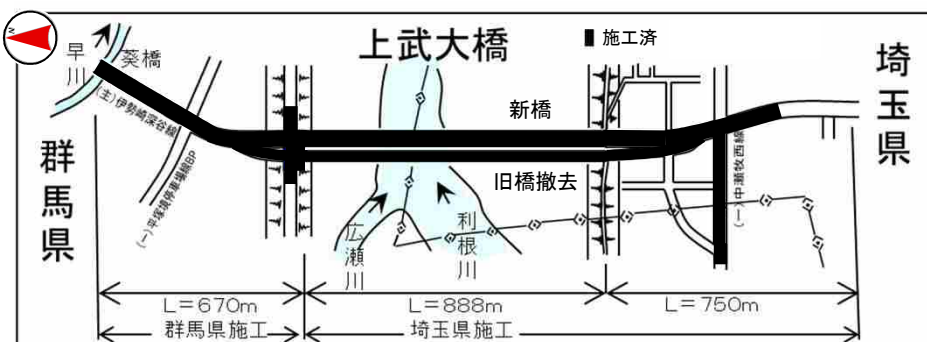
実施後

- ◆新橋が開通したことで橋の健全性が改善されるとともに、車道が広がったことで渋滞が解消され、歩行者の安全な通行空間が確保されました。



車道が広がり、歩道が設置されました

事業の進捗状況 (R4年度完了)



今、何をしているか

令和4年度に、旧橋の撤去工事、護岸工事、橋梁への河川管理用道路工事を実施し、架替事業を完了させました。



事業のすすみ具合

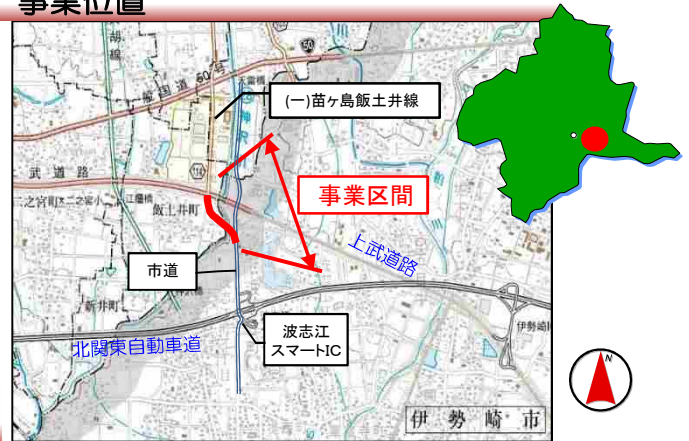
事業開始 ●

● 事業完了

事業概要

- 所在地：前橋市飯土井町～伊勢崎市波志江町
- 路線名：一般県道 苗ヶ島飯土井線
- 事業内容：バイパス整備（延長0.7km、幅10.25m）
- 全体事業費：約5億円
- 事業期間：令和元年度～令和6年度（6年間）
- 計画交通量（R12）：7,200台/日（自動車）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

物流の効率化による地域経済の活性化を図るため

ICアクセス道路をつくります



- ・地域経済の活性化のため、産業団地から波志江スマートICへのアクセス性を改善してほしい。（地域住民）
- ・交通の流れをスムーズにするため、上武道路との交差点における交通渋滞を緩和するとともに、大型車が安全にすれ違える道路にしてほしい。（道路利用者）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
上武道路交差点の渋滞長	150m	渋滞なし（0m）
産業団地からスマートIC間の右左折の回数	2回（信号交差点）	0回

実施前

- ◆現道の道路幅が狭く、国道17号上武道路と市道の交差点では交通渋滞が発生しており、円滑な通行に支障をきたしています。



渋滞状況



現地状況

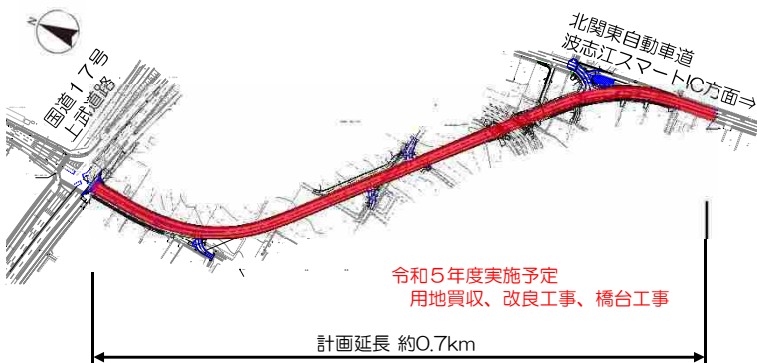
実施後

- ◆バイパス整備により、波志江スマートインターチェンジへの接続性が高まり、周辺生活道路へ流入する通過交通が減少します。



完成後のイメージ

事業の進捗状況（R5年3月現在）



今、何をしているか

令和5年度は、引き続き用地買収および道路改良工事等を行う予定です。



令和5年度の工事予定箇所

事業のすすみ具合



事業開始 ●

● 事業完了

事業概要

- 所在地：伊勢崎市境東～境米岡
- 路線名：都市計画道路 上矢島米岡線（一般県道 平塚境停車場線）
- 事業内容 バイパス整備 延長 580m
幅員 16.0m～19.0m
- 全体事業費：約12億円
- 事業期間：平成29年度～令和11年度（13年間）
- 現在の交通量：4,003台/日（現道_自動車）
86台/12時間（現道_自転車）
28人/12時間（現道_歩行者）
- 計画交通量：1,400台/日（現道_自動車）
11,600台/日（バイパス_自動車）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・市街地等の円滑な交通を確保するため

バイパス道路をつくります

地元の声

- ・境東交差点付近では朝夕混雑するため、渋滞を緩和させてほしい。（地元住民）
- ・(一)平塚境停車場線は幅員狭小で、歩行者や自転車が安全に通行できなく危険。また、通過交通により、地元の生活道路として支障がある。（地元住民）
- ・世界遺産の「田島弥平旧宅」、「島村渡船」へのアクセス道路になり、観光誘客を期待する。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
境東交差点の渋滞長	200m	渋滞の緩和
歩行者・自転車の安全確保	歩道無し（現道）	バイパスに歩道等を設置し、安全な通行を確保

実施前



渋滞状況

◆境東交差点付近に渋滞が発生しています。

◆周辺道路へ回り込む車両が多いが、道路幅が狭く、歩道も未整備なため、通学児童・生徒が危険にさらされています。



自転車の通行状況

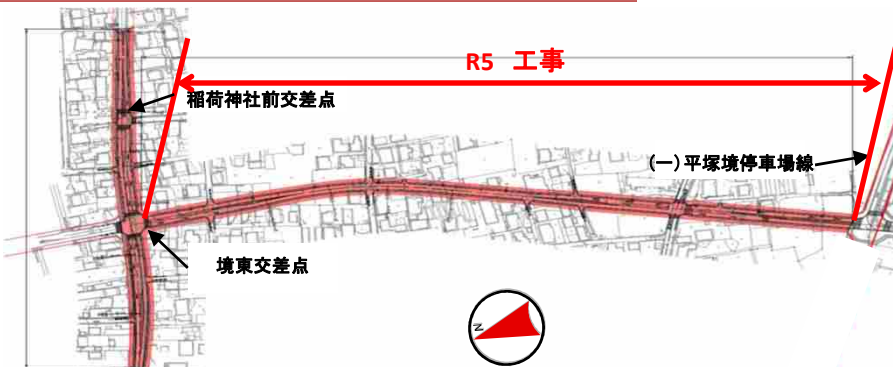
実施後

- ◆周辺道路の渋滞が解消されます。
- ◆歩道の整備のほか、電線を地中に埋設する工事も併せて行うため、歩行者、自転車が安全で快適に通行できるようになります。



完成後イメージ

事業の進捗状況（R5年3月現在）



今、何をしているか

令和5年度も引き続き道路工事を進めます。



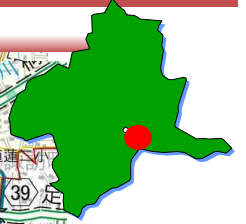
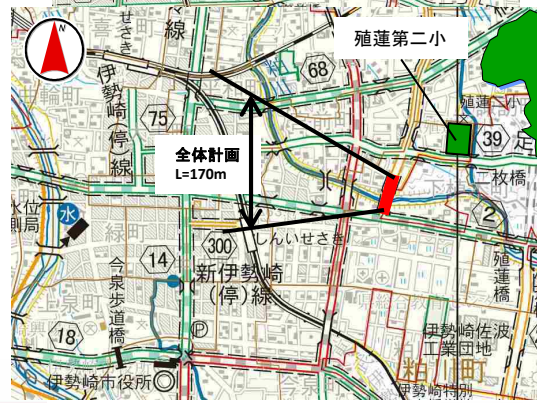
事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了

事業概要

- 所在地: 伊勢崎市下植木町
- 路線名: 一般県道 香林羽黒線
- 事業内容: 全体延長 170m
道路幅 9.25m 歩道幅 2.50m
- 全体事業費: 約1億円
- 事業期間: 平成27年度~令和2年度(6年間)
- 現在の交通量(H27): 8,775台/日(自動車)
: 60人/12時間(歩行者)
: 351台/12時間(自転車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

- ・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備しました

地元の声

- ・歩道が狭いため、児童の登下校が危険で心配。(学校関係者)
- ・子どもが利用するため、安全を確保してほしい。(地域住民)

成果を示す項目	実施前	実施後
交通事故件数	1.6件/年(事業前5年間平均)	0件

実施前

- ◆殖蓮第二小学校の通学路となっていますが、歩道が狭く、歩行者は路肩を歩くため、交通事故のおそれがありました。

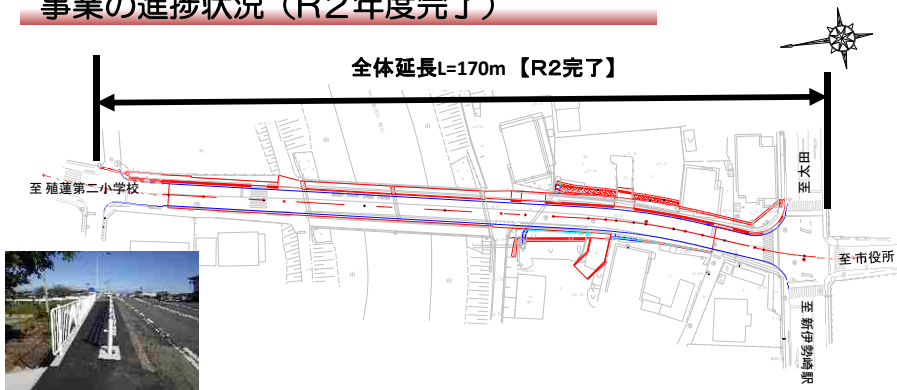


実施後

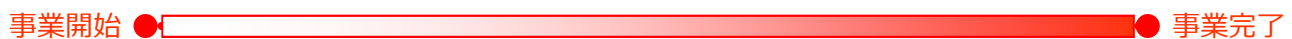
- ◆歩道を設置することで、歩行者の安全な通行空間を確保しました。



事業の進捗状況(R2年度完了)



事業のすすみ具合



今、何をしているか

令和2年度に歩道整備が完了し、歩行者や自転車の安全な通行が確保されました。





事業概要

- 所在地：玉村町下新田
- 路線名：一般県道 綿貫篠塚線
- 事業内容：全体延長 800m
道路幅 9.5m
歩道幅 1.5m
- 全体事業費：約4億円
- 事業期間：平成25年度～令和2年度（7年間）
- 現在の交通量：7,551台/日（自動車）
： 34人/12時間（歩行者）
： 36台/12時間（自転車）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

- ・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備しました



・中央小学校の通学路であるが、歩道の段差が大きく危険であるため、安全に歩けるよう歩道をつくってほしい。（地域住民）

成果を示す項目	実施前	実施後
交通事故件数	4.2件/年（事業前5年間平均）	0件

実施前

- ◆歩行者と自動車を分離する構造物などが無く、歩道が波打つ構造であったため、歩行者が危険な状態となっていました。

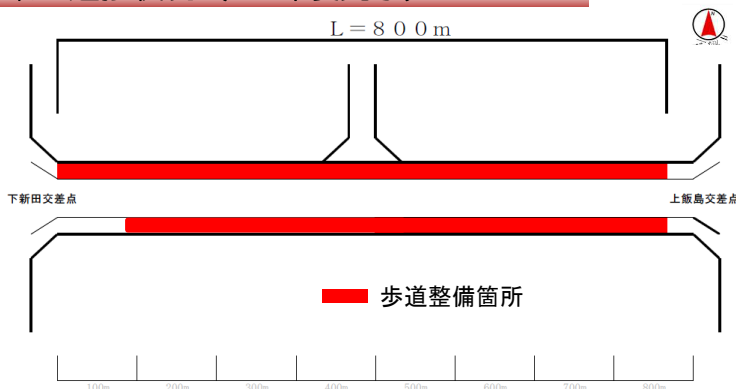


実施後

- ◆歩車を分離するブロックを設置するとともに、歩道が平坦となり、歩行者が安全に通行できるようになりました。



事業の進捗状況（R2年度完了）



今、何をしているか

令和2年度に歩道整備が完了し、歩行者や自転車の安全な通行が確保されました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

事業概要

- 所在地：伊勢崎市宮古町
- 路線名：一般県道 駒形柴町線
- 事業内容：全体計画延長 900m
道路幅 9.6m
歩道幅 2.5m
- 全体事業費：約3億円
- 事業期間：平成29年度～令和2年度（4年間）
- 現在の交通量（H27）：14,014台/日（自動車）
： 34人/日（歩行者）
： 127台/日（自転車）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

- ・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を
拡幅しました



・通学路であるが歩道が狭く、また斜面になっているため子供が転んで危険。（区長）

成果を示す項目	実施前	実施後
交通事故件数	2.8件/年（事業前5年間平均）	0件

実施前

◆大型車が多い路線ですが、歩道が狭く交通事故の恐れがありました。

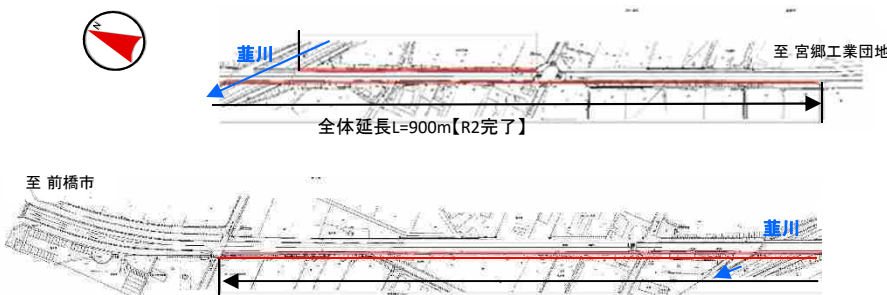


実施後

◆歩道を設置することで、歩行者の安全な通行空間を確保されました。



事業の進捗状況（R2年度完了）



今、何をしているか

令和2年度に歩道拡幅が完了し、歩行者や自転車の安全な通行が確保されました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

事業概要

- 所在地：伊勢崎市境平塚ほか
- 事業内容：全体計画延長L=12,770m
- 全体事業費：約401億円（処理場整備費用含む）
- 事業期間：平成21年度～令和8年度（18年間）
- 管径：φ800mm～1,100mm

事業位置



どのような課題を解決するための事業か

- ・汚水処理人口普及率を向上させるため

下水道管をつくります

地の元
の声

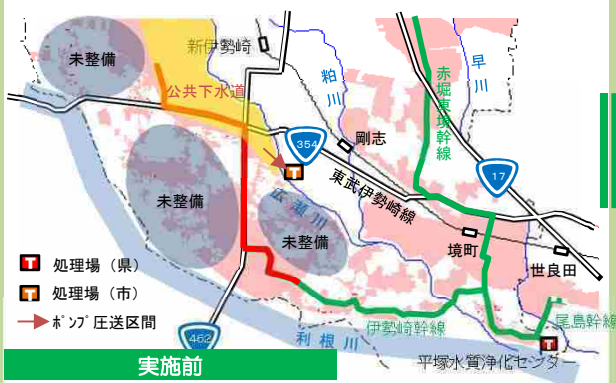
- ・伊勢崎市の汚水処理は遅れているので、早く下水道を整備してほしい。（地域住民）
- ・単独浄化槽が寿命なので、すぐに下水道につなぎたい。（地域住民）

成果を示す項目	実施前	実施後
下水道整備済人口（佐波処理区）	17.7千人（R1）	19.1千人（R9）
下水道整備進捗率*（佐波処理区）	13.7%（R1）	15.3%（R9）

※下水道整備進捗率…下水道整備済人口／下水道整備の全体計画区域内人口

実施前

- ◆下水道が未整備の区域があります。
- ◆公共下水道の一部は広瀬川をポンプ圧送しているため、維持管理コストがかかっています。



実施後

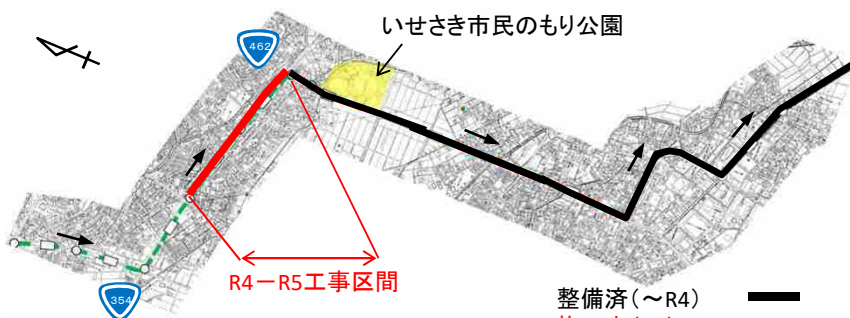
- ◆幹線が整備されることで、下水道整備区域が広がり、汚水を流せるようになります。
- ◆公共下水道の一部を流域下水道に切り替えることで、自然流下の区域が増えて、効率的な汚水処理が可能になるとともに、汚水処理人口普及率の増加が見込めます。



事業の進捗状況（R5年3月現在）

今、何をしているか

令和5年度は管渠築造工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了

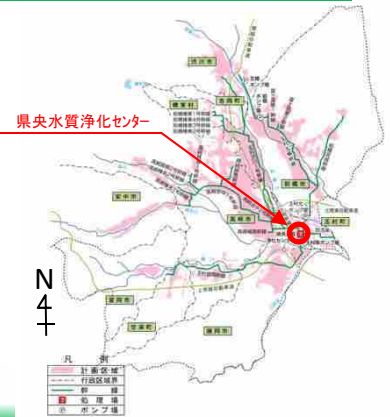
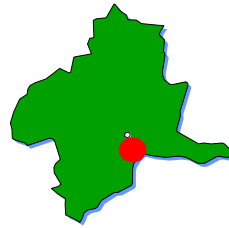


施工状況

事業概要

- 所在地：玉村町上之手
- 名称：利根川上流域下水道（県央処理区）
県央水質浄化センター
- 事業内容：水処理施設や污泥処理施設の整備
- 全体事業費：約1,780億円
- 事業期間：昭和53年度～令和12年度以降
- 処理区域：前橋市・高崎市・渋川市・藤岡市・富岡市・安中市・榛東村・吉岡町・甘楽町・玉村町の一部

事業位置



どのような課題を解決するための事業か

・快適な生活環境づくりに向け、汚水処理人口普及率を向上させる

下水処理施設をつくります

地の元
の声

・川の水環境をよくするため、下水道整備を進めてほしい。（地域住民）

成果を示す項目	実施前	実施後
下水道整備済人口（県央処理区）	491.0千人（R1）	486.5千人（R9）
下水道整備進捗率*（県央処理区）	80.5%（R1）	84.7%（R9）

※下水道整備進捗率…下水道整備済人口／下水道整備の全体計画区域内人口

実施前

◆汚れた水が処理されずに河川などに流されています。



汚れた川（イメジ）

実施後

◆県央水質浄化センターに集められた汚れた水をきれいで川にもどすことで、川の水質が保全されます。



きれいな川（イメジ）

事業の進捗状況（R5年3月現在）



事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了

今、何をしているか

令和5年度は分水井等の老朽化した施設を更新します。



分水井

事業概要

- 処理場所在地：伊勢崎市境平塚ほか
- 名称：東毛流域下水道（佐波処理区）
平塚水質浄化センター
- 事業内容：水処理施設や污泥処理設備の整備
- 全体事業費：約401億円（幹線管渠整備費用含む）
- 事業期間：平成13年度～令和12年度以降
- 対象区域：伊勢崎市・太田市の一部

事業位置



どのような課題を解決するための事業か

・快適な生活環境づくりに向け、汚水処理人口普及率を向上させる

下水処理施設をつくります

地元の声

- ・伊勢崎市の汚水処理は遅れているので、早く下水道を整備してほしい。（地域住民）
- ・浄化槽が寿命なので、すぐに下水道につなぎたい。（地域住民）

成果を示す項目	実施前	実施後
下水道整備済人口（佐波処理区）	17.7千人（R1）	19.1千人（R9）
下水道整備進捗率（佐波処理区）	13.7%（R1）	15.3%（R9）

※下水道整備進捗率…下水道整備済人口／下水道整備の全体計画区域内人口

実施前

- ◆汚れた水が処理されずに河川などに流されています。

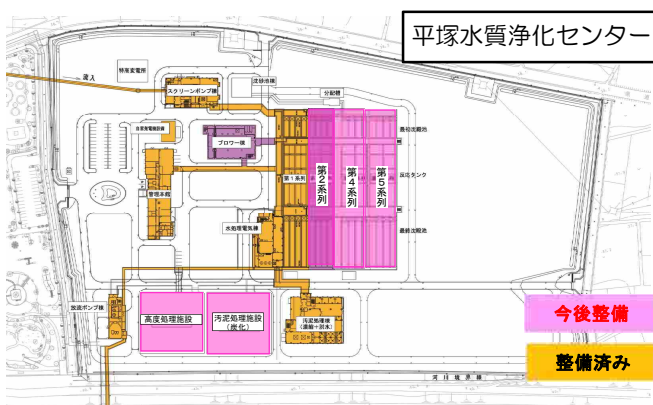


実施後

- ◆平塚水質浄化センターに集められた汚れた水をきれいして川にもどすことで、川の水質が保全されます。



事業の進捗状況（R5年3月現在）



事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了

今、何をしているか

令和5年度は水処理施設増設のために、第2系列の実施設計を行います。

水処理施設増設予定地



県道伊勢崎深谷線(茂呂町二丁目 政策3 多様な移動手段の確保
交差点) 交差点改良事業 施策2:自動車交通網の整備

事業概要

- 所在地: 伊勢崎市茂呂町
- 路線名: 主要地方道 伊勢崎深谷線
- 事業内容: 全体計画延長 280m
道路幅 10.2m
歩道幅 2.5m
- 全体事業費: 約4億円
- 事業期間: 令和4年度~令和9年度(6年間)
- 現在の交通量: 12,116台/日(自動車)
: 82人/12時間(歩行者)
: 152台/12時間(自転車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

- ・市街地等の円滑な通行を確保するため

交差点を
改良します

地元
の声

- ・交差点で道路が曲がっていて、見通しが悪いため、渋滞が発生している。(地域住民)
- ・周辺に小学校や児童クラブといった施設があるため、歩道を整備してほしい。(地域住民)

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
渋滞長	140m	渋滞の緩和
交通事故件数	1.2件/年(事業前5年間平均)	0件

実施前

- ◆交差点前後の見通しが悪いことから、渋滞が発生しています。また、交差する市道も食い違っており、危険な状態となっています。
- ◆茂呂小学校の通学路になっていますが、歩道がなく、歩行者が危険な状態となっています。



実施後

- ◆交差点前後の見通しが良くなり、渋滞が解消されます。また、交差する市道の食い違いも解消され、安全に通行できるようになります。
- ◆歩道を設置することで、歩行者が安全に通行できるようになります。



事業の進捗状況 (R5年3月現在)



今、何をしているか

令和5年度は、用地測量・調査を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了

事業概要

- 所在地: 玉村町下新田
- 路線名: 一般県道 綿貫篠塚線
- 事業内容: 全体延長 500m
道路幅 9.5m
歩道幅 1.5m
- 全体事業費: 約2億円
- 事業期間: 令和4年度~令和9年度(6年間)
- 現在の交通量: 6,690台/日(自動車)
: 131人/12時間(歩行者)
: 82台/12時間(自転車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

- 歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備します

地元の声

中央小学校の通学路であるが、歩道の段差が大きく危険であるため、安全に歩けるよう歩道をつくってほしい。(地元住民)

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
交通事故件数	5.8件/年(事業前5年間平均)	0件

実施前

- 歩行者と自動車を分離する構造物などが無く、歩道が波打つ構造であったため、歩行者が危険な状態となっています。



実施後

- 歩車を分離するブロックを設置するとともに、歩道が平坦となり、歩行者が安全に通行できるようにします。



事業の進捗状況 (R5年3月現在)



今、何をしているか

令和5年度は用地測量、用地調査、用地買収を実施します。



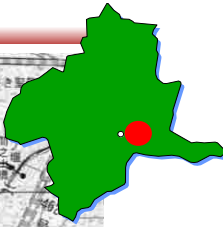
事業のすすみ具合

事業開始 ● [Progress bar] ● 事業完了

事業概要

- 所在地: 伊勢崎市波志江町
- 路線名: 主要地方道 伊勢崎大胡線
- 事業内容: 全体延長 730m
道路幅 10.0m
歩道幅 2.5m
- 全体事業費: 約6億円
- 事業期間: 令和5年度~令和10年度(6年間)
- 現在の交通量(H27): 15,521台/日(自動車)
110人/12h(歩行者)
544台/12h(自転車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備します



- ・通学路の一部に歩道がないところがあるため、通学に不安がある。(地域住民)
- ・県道は路肩が狭く、自転車や歩行者が危険な状況なので、歩道が必要だと思う。(地元区長)

成果を示す項目	実施前	実施後
交通事故件数	1.6件/年(事業前5年間平均)	0件

実施前

◆大型車が多い路線ですが、歩道がなく交通事故の恐れがあります。



実施前の状況(歩道なし)

実施後

◆歩道を設置することで、歩行者の安全な通行空間が確保されます。

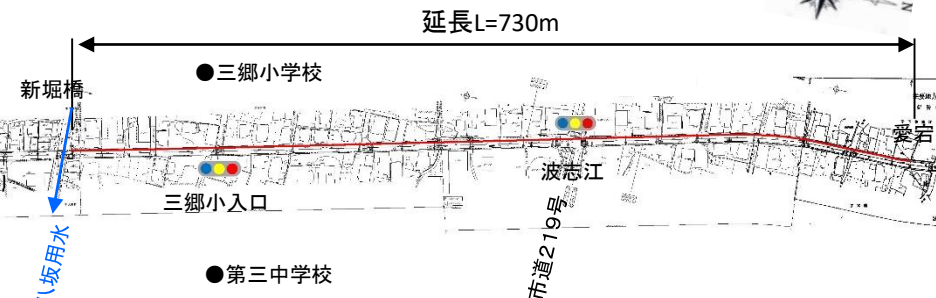


実施後のイメージ

事業の進捗状況(R5年3月現在)

今、何をしているか

令和5年度は設計計画を決定するために測量業務と設計業務を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了

事業概要

- 所在地: 伊勢崎市太田町
- 路線名: 主要地方道 伊勢崎大胡線
- 事業内容: 全体延長 1,630m
管路整備延長3,260m
- 全体事業費: 約12億円
- 事業期間: 令和5年度~令和14年度
- 現在の交通量 (H27): 15,521台/日 (自動車)
110人/12h (歩行者)
544台/12h (自転車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

- ・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

電線を地中化して
電柱を撤去します



- ・通学の学生が多いので安全な歩道にしてほしい。(地元住民)
- ・電柱をなくして、地域の景観を向上させてください。(地元商店)

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
電柱倒壊の可能性	あり	なし
歩行者事故件数 (H27~H30)	0.8件/年	0件

実施前

- ◆電柱があるため、歩行者の支障になっており、災害時には電柱が倒壊し、道路が寸断される恐れがあります。



実施前の状況

実施後

- ◆道路上の電柱が無くなり、歩行者が通行する際に安全な通行空間が確保されます。



完成後イメージ

事業の進捗状況 (R5年3月現在)



今、何をしているか

令和5年度は、測量及び設計業務を行います。



現在の状況

事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了